

平成30年度 第2回岐阜県手話サークル協議会理事会 議事録

平成31年3月24日岐阜県民ふれあい会館405号室にて第2回県サ協理事会が開催された。

有効定数44名、出席理事25名、委任状15名、合わせて40名、有効定数の90.9%に達し、会議の成立を確認した。

1. 会長あいさつ

聴協職員で県サ協役員の酒井さんが今年度3月末で退職される。今後の聴協の戦力ダウンが懸念される場所である。またこの後に加盟サークルの退会について審議する。サークル員の減少に歯止めがかからない状況にある。

2. 協議事項

第1号議案 平成31年度事業計画の案について承認された。

第2号議案 平成31年度会計収支予算書案について承認された。

第3号議案 その他

- ・手話サークルながら、南濃町手話サークルからサークル員の減少により運営が難しくなったとの理由で退会届が提出されたと報告があり、承認された。

3. その他連絡・報告

(1) 平成30年度会計収支中間決算書の報告

(2) リラクゼーション研修報告

今年度はかにかっ子の1件だけで実施された。

(3) サークル紹介及び県サ協 HP について

今年度は問い合わせは0件だった。HPの更新、運営はセンターの山田さんをお願いしており、サークルの詳細については職員である酒井さんに任せていたところが多くあったため、4月以降の運営についてめて役員で検討しなければならない。

(4) ブロック研修会について

各ブロックに分かれて、それぞれ日程、内容について相談。

————— 休憩 (全員手話ゲームでアイスブレイク) —————

(5) その他

聴協が運営し、進めなければならない介護事業が人員不足などからなかなか進まない状況にある。県下全体のろう高齢者にできるだけ参加していただくためには、地域にあるサークルの協力を協力していただければ大きな力になるのでお願いしたい。現在障害者の生活は関係者が連携して支えていく時代になっている。手話を学ぶことはもちろん大切であるが、ろう者に寄り添って支えていくサークルであってほしい。